（作成者：クリニカルパス専門部会）

DCF療法を受けられる患者さんへ（前日入院/5日間投与）

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院：1病日 ／	2病日 ／	3病日 ／	4病日 ／	5病日 ／	6病日 ／	7病日 ／	8病日：退院 ／	【退院後の生活について】
達成目標	・治療について理解できる		・体重増加がない				・退院指導の内容を理解できる		・定期的な通院を継続してください ・薬の投与後2～3週間で脱毛が起こることがあります。刺激の少ないシャンプーや石鹸を使用し、パーマやカラーは医師へ相談後にしてください 以下の症状がある時はご連絡ください ・風邪などの感染症症状 ・38.0度以上の発熱 ・食事が食べられない ・その他異常を感じる 【緊急連絡先】 ・平日時間内 （8：30～17：00） 消化器内科外来 0985-85-9883 ・土日・祝日、時間外 3階西病棟 0985-85-1745
		・嘔気・嘔吐がない							
		・経口摂取ができる							
	・38.0度以上の発熱がない								
	・有害事象（下痢、手足の皮膚障害、手足のしびれ、口内炎など）の症状出現時は医療者に伝えることができる								
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します	・吐き気止めを内服します（1日1回夕食後、4日間）							
注射		・抗がん薬の点滴をします ・体重の増加がみられた時は、利尿剤を使うことがあります					・点滴を抜きます		
検査	・採血 ・レントゲン ・心電図 ・身長・体重測定					・採血			
			・体重測定1日2回（起床時、15時）（毎日）				・体重測定1日1回（起床時）		
		・排尿毎に尿量を測ってください（毎日）							
処置	・うがい液を使用し、うがいをしてください（1日3回）								
食事	・制限はありません								
活動・安静	・制限はありません	・制限はありませんが、抗がん薬の点滴中は病棟内でお過ごしください					・制限はありません		
清潔	・シャワー浴をしてください	・身体を拭きます					・シャワー浴ができます		
				・洗髪をします					
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・薬剤師が、資料を用いて治療（薬剤）の説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒転落予防について説明します					・「がん薬物療法を受けられた患者さんへ」「抗がん薬の曝露予防について」を用いて、退院後の生活について説明します			
その他		・吐気やしゃっくりなどの症状があれば薬を使用しますので、我慢せずにお知らせください ・吐気により食事が食べづらい場合は、ご要望に沿って食事の調整を行いますので、ご相談ください ・抗がん薬投与終了から2日間は、尿や便に抗がん薬が含まれます。排泄時、尿・便の飛散により、ほかの方々のお身体にも影響を及ぼす可能性があるため、男性は座って排尿してください。排泄後は、水を2回流してください ・点滴の薬剤が血管の外に漏れると、その部位の皮膚に炎症が起こることがあります。点滴をしているところに痛みや発赤、腫れがある場合は、ナースコールでお知らせください							

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。

宮崎大学医学部附属病院
2025年2月承認
2025年3月更新